

2003年4月8日(火)~5月18日(日)

開館時間=午前9時~午後5時(入館は4時30分まで) 休館日=4月14日(月)、21日(月)、28日(月)、5月6日(火)、12日(月) 入館料=一般300円(240円)/小中学生100円(80円) ※()内は10名以上の団体料金/65歳以上の方及び障害者の方は無料/土曜日は小中学生無料 [上左] 歌川国芳 武英猛勇鏡 源牛若丸·武藏坊弁慶 [上右] 歌川国芳 本朝水滸伝剛勇八百人一個 宮本武三四 [下] 歌川芳艶 破奇術頼光袴垂為搦

渋谷区立松濤美術館 東京都渋谷区松濤2-14-14 TEL03-3465-9421

JR渋谷駅下車徒歩15分、京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分

江戸文化の華である浮世絵は、様々な画題を取り込 んで、庶民のニーズに応えてきました。義経をはじめと する古今の名将や、弁慶や曾我兄弟などの力自慢を 描いた武者絵も、美人画、役者絵、風景画などと並ぶ浮

世絵の主要なレパートリーの 一つでした。嘉永六年に刊行 された『江戸寿那古細撰記』 では、「豊国 にかほ、国芳 むしや、広重 めいしよ…」の 順が示されており、国芳が描く 武者絵は、豊国の似顔(役者 絵)に次ぎ、広重の名所風景 画を上回るほどの人気があっ たことがわかります。

浮世絵の中の武者たちは、 庶民のヒーロー願望を反映す るように、超人的なまでの肉体

をまとって、驚くばかりの離れ業を演じています。そのよ うな史実から空想の世界に一歩踏み出した大胆な表 現こそが武者絵の魅力であり、子供から大人まで多く の人々に愛された理由でしょう。江戸庶民にとって浮世 絵の中で活躍する武者たちは、歴史上の有名人であ ったばかりでなく、単調な日常を忘れさせてくれるヒー ローだったのです。

明治時代以降、盛んに描かれはじめた厳密な考証 に基づく歴史画の陰に隠れるように、次第に武者絵の 人気は下火となってしまいます。凧絵やねぶたのような 祭礼の山車の形象として庶民の間では受け継がれま したが、特に戦後は美術史の本道からはずされて、満 足な展覧会も開かれていないのが現状です。

しかし武者絵のダイナミックな構図や躍動する肉体 表現は、刺激になれた現代においてさえ、充分な魅力 を持っています。国芳らが描く幕末の武者絵の完成度 の高さは、江戸文化の成熟を示すものと言って良いで しょう。錦絵や絵馬・凧絵などによって武者絵を真正面 から取り上げたこの展覧会において、その魅力の一端 を感じていただければ幸いです。



本朝水滸伝豪傑八百人之





歌川国芳 大江山酒呑童子



歌川国芳 通俗三国志英雄之壹人



歌川国芳 真勇競 平知盛

■講演会

4月19日(土)午後2:00~ 「武者絵のヒーローたち」 講師/岩切友里子(浮世絵研究家)

■美術映画会

4月20日(日)午後2時~3時 〈京都の魅力 美のすべて〉シリーズより「寺院の庭」 〈近代美術―実践と論争〉シリーズより 「パリ―近代のカレイドスコープ」

5月18日(日)午後2時~3時

〈京都の魅力 美のすべて〉シリーズより「二条城」

〈近代美術―実践と論争〉シリーズより「マチスと表現の問題」

■ギャラリートーク

4月25日(金)午後2時~ 5月9日(金)午後2時~ 担当学芸員 矢島新

■美術相談

4月26日(土)午後2時~4時 講師 遠藤原三(油彩)、大和屋巌(水彩) 5月10日(土)午後2時~4時 講師 茂登山東一郎(油彩)、栗田口博(水彩)

渋谷区立松濤美術館

東京都渋谷区松濤2-14-14 TEL03-3465-9421



JR渋谷駅下車徒歩15分 京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分